



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月1日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,919	17.8	535	43.6	547	43.1	553	196.5
29年3月期第1四半期	6,724	21.3	372	6.6	382	4.1	186	16.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 553百万円 (265.2%) 29年3月期第1四半期 151百万円 (37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.77	
29年3月期第1四半期	5.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	18,530	12,509	67.5	401.99
29年3月期	19,500	12,734	65.3	409.20

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 12,509百万円 29年3月期 12,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		25.00	25.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,480	11.3	1,630	12.2	1,650	12.1	1,270	47.2	40.81
通期	36,000	10.6	4,450	15.7	4,500	15.4	3,150	22.4	101.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	31,121,520 株	29年3月期	31,121,520 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,636 株	29年3月期	1,625 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	31,119,887 株	29年3月期1Q	31,119,915 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、緩やかな景気回復の動きが見られた一方で、個人消費は依然として節約志向が根強く、消費者の選別の目は、一層厳しさが増す状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは「ダブルエスアール（WSR）※」の経営スローガンのもと、『超現場主義』を実践テーマに加え、プロフィット部門であります製造ライン、店舗、営業部門における現場中心の経営スタイルに一層磨きをかけ、商品力、販売力・営業力、売場力の更なる向上に努めてまいりました。また、「インバウンド対策の強化」、「海外展開」、「首都圏でのWSR化展開の推進」、「プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成」の4つの重点施策に引き続き注力してまいりました。更に、首都圏での経営基盤をより一層強固なものとすべく、平成29年4月1日付で株式会社シュクレイを存続会社とし、株式会社フランセを消滅会社とする吸収合併によるグループ再編を実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,919百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益は535百万円（前年同期比43.6%増）、経常利益は547百万円（前年同期比43.1%増）となりました。また、固定資産売却益の特別利益計上及び税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上により税金費用が減少したことなどにより親会社株主に帰属する四半期純利益は553百万円（前年同期比196.5%増）となりました。

※ WSR（ダブルエスアール）とは、グループ経営基本方針として平成27年に掲げた経営スローガン『ワールドサプライジング リゾート（World Surprising Resort）宣言』の略称であり、商品・店舗・接客・営業活動など、あらゆるビジネスのシーンで「世界へ、ありえないほどの驚きの、非日常（超感動）を提供する」という意味が込められています。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、平成29年4月1日付で実施した連結子会社間の吸収合併に伴い、従来、報告セグメントとしておりました「フランセ」を当第1四半期連結会計期間より「シュクレイ」に統合いたしており、以下の記載における前第1四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。

① ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、売上面では、国際線ターミナルにおいて専用什器展開を推進したほか、母の日及び周年祭など季節イベントでの販促強化などに努めた結果、売上高は2,430百万円（前年同期比21.3%増）となり前年同期を上回りました。利益面では、売上構成の変化などにより売上総利益率が前年同期に対し1.9ポイント減少したことに加え、人件費及び物流費が増加した結果、営業利益は140百万円（前年同期比9.8%減）となり前年同期を下回りました。

② 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、グループ会社及び代理店向けの製品供給の拡大に向け、「サンドクッキー」ラインの新設など製造ラインの拡充を図りました。また、山陰地区では発売50周年を迎えた名菓「因幡の白うさぎ」の販売強化に注力しました。その結果、売上高は2,456百万円（前年同期比13.1%増）となり前年同期を上回りました。利益面では、販売管理費の増加を増収効果で吸収できた結果、営業利益は182百万円（前年同期比4.3%増）となり前年同期を上回りました。

③ シュクレイ

シュクレイは、統合メリットを最大限発揮させるべく組織体制の見直しを行い、営業面では新体制による直営店の人員の再配置及びサポート体制の充実を図りました。生産面では、自社ブランド商品の一部を寿製菓及びケイシイシイから自社工場での生産に切り替えを行うなど増産体制の確立などに努めました。その結果、売上高は2,238百万円（前年同期比28.0%増）となり前年同期を上回りました。利益面においても増収効果に加え、売上総利益率が前年同期に対し2.6ポイント増加し、更に売上高に対する販売管理費比率が3.6ポイント減少した結果、営業利益は103百万円（前年同期は営業損失28百万円）となり前年同期を上回りました。

④ 販売子会社

販売子会社は、駅、空港、SA・PAなど交通拠点チャネルを中心に、専用什器によるコーナー化展開を推進し、主力商品及び新商品の拡販などに注力いたしました。その結果、売上高は1,283百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は85百万円（前年同期比58.7%増）となり、ともに前年同期を上回りました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、熊本地震の影響から低迷しておりました長崎・佐世保地区は、主力商品「九十九島せんべい」の販売強化などにより回復基調にあるものの、福岡地区では、福岡空港改装に伴う売場縮小などにより低迷しました。フレンチトースト専門店「Ivorish (アイボリッシュ)」は、認知度向上を図るため首都圏を中心に期間限定店舗展開を推進しました。その結果、売上高は766百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失は77百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれており、売上高は93百万円（前年同期比52.4%増）となり、営業損失は11百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、18,530百万円となり、前連結会計年度末に比べ970百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（883百万円）、受取手形及び売掛金の減少（687百万円）、土地の減少（227百万円）、流動資産におけるその他の増加（382百万円）、商品及び製品の増加（178百万円）、機械装置及び運搬具（純額）の増加（146百万円）、建物及び構築物（純額）の増加（106百万円）などの要因によるものです。

負債は6,020百万円となり、前連結会計年度末に比べ745百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少（569百万円）、賞与引当金の減少（247百万円）、支払手形及び買掛金の減少（180百万円）、流動負債におけるその他の増加（296百万円）、などの要因によるものです。

純資産は12,509百万円となり、前連結会計年度末に比べ224百万円減少いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加（553百万円）、配当金の支払いによる減少（777百万円）などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.2ポイント増加の67.5%となり、1株当たり純資産は401円99銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本資料発表日現在におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回公表数字（平成29年5月15日付「平成29年3月期決算短信」）からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,551,463	2,668,271
受取手形及び売掛金	3,592,493	2,904,710
商品及び製品	1,003,805	1,182,219
仕掛品	74,161	82,406
原材料及び貯蔵品	453,360	449,901
その他	784,244	1,166,643
貸倒引当金	△4,276	△7,022
流動資産合計	9,455,250	8,447,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,333,555	3,439,964
機械装置及び運搬具(純額)	1,748,667	1,895,542
工具、器具及び備品(純額)	374,008	369,939
土地	3,084,438	2,857,139
リース資産(純額)	8,380	7,605
建設仮勘定	52,453	52,983
有形固定資産合計	8,601,501	8,623,172
無形固定資産	103,149	104,544
投資その他の資産		
その他	1,365,774	1,380,263
貸倒引当金	△25,533	△24,991
投資その他の資産合計	1,340,241	1,355,272
固定資産合計	10,044,891	10,082,988
資産合計	19,500,141	18,530,116
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,246,124	1,065,279
1年内返済予定の長期借入金	318,063	315,563
未払法人税等	819,118	249,781
賞与引当金	590,083	342,482
ポイント引当金	18,414	21,025
その他	1,735,254	2,031,297
流動負債合計	4,727,056	4,025,427
固定負債		
長期借入金	693,142	613,043
退職給付に係る負債	1,156,787	1,193,835
その他	188,945	187,860
固定負債合計	2,038,874	1,994,738
負債合計	6,765,930	6,020,165

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	10,161,317	9,936,323
自己株式	△835	△866
株主資本合計	12,701,443	12,476,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,457	37,197
為替換算調整勘定	△4,334	△7,127
退職給付に係る調整累計額	3,645	3,463
その他の包括利益累計額合計	32,768	33,533
純資産合計	12,734,211	12,509,951
負債純資産合計	19,500,141	18,530,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,724,367	7,919,788
売上原価	3,074,675	3,603,984
売上総利益	3,649,692	4,315,804
販売費及び一般管理費	3,277,051	3,780,783
営業利益	372,641	535,021
営業外収益		
受取利息	50	198
受取配当金	2,497	2,524
受取地代家賃	5,035	4,703
持分法による投資利益	4,102	—
その他	5,471	10,090
営業外収益合計	17,155	17,515
営業外費用		
支払利息	3,495	1,303
持分法による投資損失	—	635
その他	3,363	2,721
営業外費用合計	6,858	4,659
経常利益	382,938	547,877
特別利益		
固定資産売却益	41	75,191
特別利益合計	41	75,191
特別損失		
固定資産除却損	5,271	3,787
特別損失合計	5,271	3,787
税金等調整前四半期純利益	377,708	619,281
法人税等	191,222	66,278
四半期純利益	186,486	553,003
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,486	553,003

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	186,486	553,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,734	3,740
為替換算調整勘定	△11,107	△3,716
退職給付に係る調整額	—	△182
持分法適用会社に対する持分相当額	—	923
その他の包括利益合計	△34,841	765
四半期包括利益	151,645	553,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,645	553,768

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	ケイシイシイ	寿製菓・但馬寿	シュクレイ	販売子会社	九十九島グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,790,661	1,319,405	1,749,040	1,146,506	657,777	6,663,389
セグメント間の内部売上高又は振替高	213,619	852,748	—	3,748	88,952	1,159,067
計	2,004,280	2,172,153	1,749,040	1,150,254	746,729	7,822,456
セグメント利益(△は損失)	155,796	175,409	△28,652	53,946	△41,329	315,170

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	60,978	6,724,367	—	6,724,367
セグメント間の内部売上高又は振替高	163	1,159,230	△1,159,230	—
計	61,141	7,883,597	△1,159,230	6,724,367
セグメント利益(△は損失)	△12,941	302,229	70,412	372,641

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額70,412千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額231,788千円、セグメント間取引消去額12,024千円、たな卸資産の調整額△7,267千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,133千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	ケイシイシイ	寿製菓・但馬寿	シュクレイ	販売子会社	九十九島グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,187,410	1,473,165	2,213,981	1,274,858	677,188	7,826,602
セグメント間の内部売上高又は振替高	243,306	982,891	24,583	8,274	88,881	1,347,935
計	2,430,716	2,456,056	2,238,564	1,283,132	766,069	9,174,537
セグメント利益(△は損失)	140,572	182,969	103,770	85,594	△77,976	434,929

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	93,186	7,919,788	—	7,919,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,347,935	△1,347,935	—
計	93,186	9,267,723	△1,347,935	7,919,788
セグメント利益(△は損失)	△11,042	423,887	111,134	535,021

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額111,134千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額286,487千円、セグメント間取引消去額4,631千円、たな卸資産の調整額△2,176千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,808千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

平成29年4月1日付で連結子会社であります株式会社シュクレイは、連結子会社であります株式会社フランセを吸収合併いたしました。これに伴い、従来、報告セグメントとしておりました「フランセ」を当第1四半期連結会計期間より「シュクレイ」に統合いたしており、前第1四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。